

芽室町 橋梁長寿命化修繕計画

令和2年3月
(令和7年7月一部改訂)

芽室町 環境土木課

芽室町 橋梁長寿命化修繕計画

§ 1. 橋梁長寿命化修繕計画全体の方針

1. 背景と目的

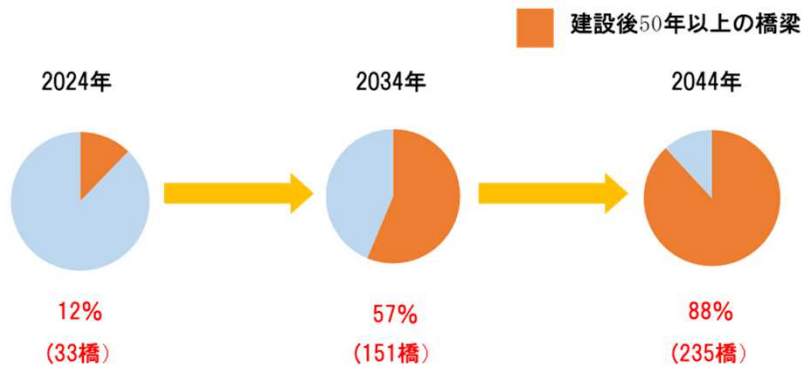
【背景】

- ・芽室町が管理する道路橋は、2024年度現在266橋あり、このうち建設後50年を経過する高齢化橋梁は33橋で、全体の12%を占める。
- ・20年後には、この割合がおよそ88%を占め、急速に高齢化橋梁が増大する。
- ・今後、増大が見込まれる橋梁の大規模修繕・更新に要する経費に対し、可能な限りのコスト縮減への取り組みが不可欠である。

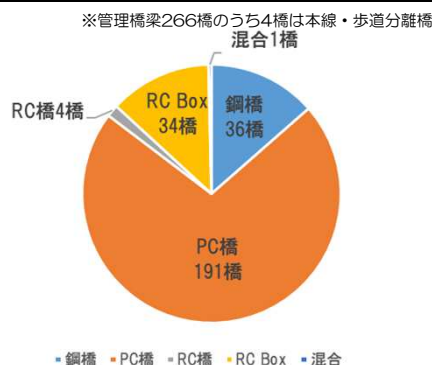
【目的】

- ・定期点検による橋梁の状態の把握、予防的な修繕および計画的な更新を着実に進め、橋梁の長寿命化と橋梁の大規模修繕・更新に係る費用を縮減します。
- ・重要な道路ネットワークの安全性・信頼性を確保していくために長寿命化修繕計画を策定します。

建設後50年以上の橋梁箇所数の増加



橋種別の橋梁数（2024年現在）



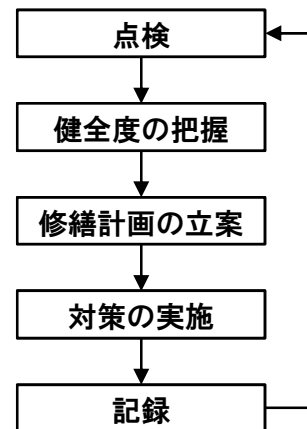
北伏古南7線橋（橋長78.18m）
昭和39年供用開始（60歳）

2. 対象橋梁

	1級町道	2級町道	その他町道	合計
全管理橋梁	75	36	155	266
うち計画の対象橋梁	75	36	155	266
うちR6年度計画策定橋梁数	9	7	11	27

3. 基本的な方針

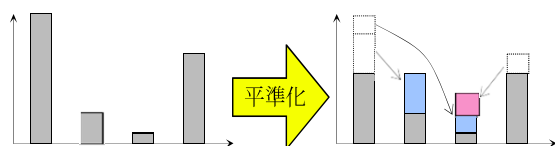
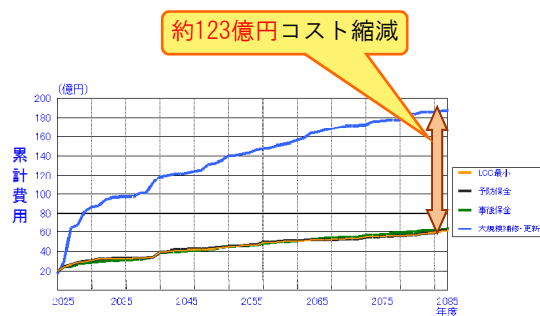
- ☆点検マニュアルに基づき、専門家による橋梁点検を実施し、橋の健全度を把握します。橋梁点検は、おおよそ5年ごとに行なっていく予定です。
- ☆それぞれの橋において、点検により把握した健全度に基づき最適な修繕計画(低コストかつ長寿命化を図れる計画)を立案します。
- ☆全対象橋梁において、長寿命化修繕計画を策定し、計画に基づいて順次、修繕を実施します。
- ☆点検および修繕した結果は、橋梁台帳および点検調書等に記入し電子データとして保存します。



橋の維持管理の流れ

4. 効果

- ☆今後60年の修繕・更新事業費
(予防保全型、大規模補修・更新型)
を試算した結果、予防保全型の累計は、約60億円、大規模補修・更新型の累計は183億円となり、予防保全型の維持修繕を実施することにより約123億円のコスト削減効果が期待できます。
- ☆維持補修費用を平準化させ年度間において格差を抑えることで、財政負担を軽減することができます。



§ 2. 新技術等の活用方針

橋梁点検や修繕の実施に当たっては、従来技術と新技術を比較検討し、有効なものは積極的に活用していくことで、従来技術へと技術の転換を図り、定期点検の効率化や高度化、修繕費用の省力化や費用縮減に努めます。

◆新技術情報システム(NETIS)や点検支援技術性能カタログ(案)などを参考に、新技術等の活用を検討し、事業の効率化やコスト縮減を図ります。

主な対応は以下の通りとします。

- ①定期点検の実施に当たっては、新技術情報システム(NETIS)や点検支援技術性能カタログ(案)の活用を検討し、橋梁状況・点検期間・コスト縮減の観点から最適な点検実施方法を選定します。
- ②修繕工事の実施に当たっては、新技術情報提供システム(NETIS)等の新材料・新工法の活用を検討します。

＜新技術一例＞



§ 3. 費用の縮減に関する具体的な方針

◆今後の老朽化対策に必要となる費用の縮減

・定期点検および修繕工事においては、新技術情報提供システム(NETIS)や点検支援技術性能カタログ(案)を活用し、工事の高度化・効率化・工期の短縮化により、コスト縮減を図ります。

◆撤去・機能縮小などによる費用の縮減

・社会情勢や路線の利用状況の変化により、町道路線の統廃合が可能となる場合は、当該橋梁の集約・撤去を進め、コスト縮減を図ります。

・今後の統廃合については、利用頻度を考慮し、利用住民等と調整しながら検討します。

§ 4. 短期的な数値目標およびそのコスト縮減効果

1. 集約化・撤去に関する短期的な数値目標

- ◆令和18年度までに管理する全266橋の内、周辺道路整備を実施する橋梁2橋を対象に、現在の利用状況や点検結果及び代替路の有無を踏まえ、地元住民と調整しながら、集約化・撤去を検討し、約30(百万円)のコスト縮減を目指します。

2. 新技術等の活用に関する短期的な数値目標

- ◆芽室町が管理する橋梁266橋の内、過年度の定期点検において橋梁点検車及び高所作業車を使用した橋梁74橋について、令和7年度の点検から新技術の活用を重点的に検討し、令和11年度までに約3(百万円)程度のコスト縮減を目指します。
- ◆修繕工事においても、健全度Ⅲ判定となった27橋について、設計段階から新技術の活用を含めた比較検討を行い、令和18年度までに約30(百万円)のコスト縮減を目指します。

§ 5. 個別橋梁事項

- ◆橋梁諸元・点検結果・長寿命化対策内容・対策年度・概算事業費については、それぞれ別紙①【橋梁一覧表】、別紙②【橋梁位置図】の通りです。
別紙①【橋梁一覧表】は毎年更新します。

§ 6. 修繕計画策定（更新・改定）担当部署



芽室町 環境土木課

TEL : 0155-62-9726 E-mail : k-kensetsu@memuro.net